

## 日本軍政下の香港における日本語教育 (参考資料1)

『The Hong Kong News』に掲載された「Japanese : A Lesson A Day」

### ー 1942年2月～7月ーの概要

(解説: 新聞紙上に掲載された教材)

#### ○ 香港日報社について

「香港日報社」は明治42年(1908年)に創立発行されました。ですから、日本占領期にはすでに30年近くの歴史を持っていました。この「香港日報社」は、名義上は個人の経営ですが、日中戦争の勃発後、台湾総督より出資を受けていました。ですから占領当時は日本軍と近い関係にあったと思われます。

「香港日報社」とはどんな会社だったのでしょうか。「香港日報」中華民国32年(1943年)1月7日号には「香港日報の日本語版一万号を記念する」という記事が見え、総督の祝詞も載っています。祝詞の中には香港にあっては「香港日報」が唯一の日本語紙であることも述べられています。また、そこには同社の沿革が次のように記されています。

「創刊は明治42年9月1日。創立者は松島宗衛氏。大正10年10月12日創立12周年記念を最後に第2代目の井手元一社長に就任。井手社長在任中の日中戦争勃発。昭和12年12月1日日本語版の第4頁を中国語とする。昭和13年11月1日高齢を以てその職に耐えず、現衛藤俊彦氏がその職を引き継ぐ。」とあり、その創立のいきさつはともかく日本が香港を占領していた当時軍と非常に近い組織だったと言うことは認識しておかなければならないと思います。だからこそ、占領が始まると同時に香港日報の英語版『The Hong Kong News』にも、また香港日報の中国語版にも日本語講座の連載がただちに始まったのではないかと思います。

#### ○ 『The Hong Kong News』に掲載された「Japanese : A Lesson A Day」

さて、「香港日報社」は英語版の『The Hong Kong News』、日本語版の『香港日報』、中国語版の『香港日報』の3紙を発行していましたが、この英語版の『The Hong Kong News』には「Japanese : A Lesson A Day」というタイトルで英語の解説による日本語の講座が掲載されていました。筆者が確認しえた範囲で言えば、この講座は1942年2月8日から7月6日まで149回に及んでいます。英語で文法の解説がなされ、用例は全てローマ字で書かれています。

#### ○ 香港日報社「香港日報」(中国語版)に掲載された「日本語講座」

上述の中国語版の『香港日報』には中国語の解説による「日語講座」が掲載されていました。

同講座の内容は主に中国語による文法解説と用例です。用例は歴史的仮名遣いで書かれており、それに中国語訳が付けられています。全体の構成は次のようなものです。

- ・(第3章) 名詞 (数詞、代名詞、人称代名詞、指示代名詞等)
- ・(第4章) 動詞 (活用を中心に)
- ・第5章 形容詞
- ・第6章 助動詞
- ・第7章 助詞
- ・第8章 副詞

現在、同講座の全容を知ることはできませんが、当時としてはポピュラーな構成の文法解説だったのではないのでしょうか。この講座の執筆者は分かっていませんが、当時の日本語教材、教科書と比較してみると推測できるのではないかと思います。

○香港日報社「香港日報」(中国語版)に掲載された「放送日本語講座」

『香港日報』の中国語版には中国語の解説による「日語講座」と同時に「放送局播放日語講座」と題してラジオ放送による日本語学習番組が放送されていました。

日本は占領と同時に放送局を占拠し、情報をコントロールしましたが、それと同時に日本語普及のためのラジオ日本語講座を開始しています。

その内容について見てみましょう。放送時間ですが、夜7時半位から20～30分程度行なわれていました。香港日報紙上の掲載、放送時間表によれば毎日定期的に行なわれていたわけではありません。

担当講師には曾麗卿、大森幸子という名前が見えます。大森幸子という方は香港日報1943年1月25日号によれば「日本生まれ。香港在住20年以上。中山大学で日本語を教授した経歴あり。日本語にも広東語にも精通している。留日同学会理事陳李白史の夫人。」とあり戦前中国の方に嫁いだ日本人女性です。

この講座のテキストは1942年の段階で、初め「香港日報」の中国語版に掲載されましたが、後に掲載されなくなりました。1942年9月18日の香港日報紙にも日語講座第2期6課(即原書6課)と記載されており、恐らく放送日本語用のテキストが何らかの形で出来上がったからではないかと思われます。

1943年に入り「放送日語」は前回の放送分を校正し直すような形で再登場してきます。この間の事情に関しても詳しいことは分かりませんが、ある程度経験のある日本語の教師がこうした企画に参画するようになったからかも知れません。

同じ「香港日報」の中国語版に掲載された「日語講座」と「放送局播放日語」ですが、両者を比較してみると「日語講座」が無味乾燥な文法解説であるに対して、「放送局播放日語」の方は運用重視であったことが、表記ひとつをとっても分かります。

今後、こうした一連の資料の詳しい分析が必要になると思います。

尚、この資料は香港政庁にマイクロフィルムの形で保管されています。この資料の発見者はマカオ大学の故宜野座伸治先生であり、私(斎藤)は宜野座先生の研究のお手伝いをし、先生のご指示のもと閲覧、メモを取ったにすぎない。本来これら一連の作業はすべて宜野座先生の業績に帰すべきものであることを申し添えます。

(筆者注:本分の解説は英文、その用例はすべてローマ字書きである)

予告(1942年2月7日) 「Japanese : A Lesson A Day」を開始するとの予告

第1課(1942年2月8日)・五十音図

第2課(1942年2月9日)・発音 母音、子音、長音について

第3課(1942年2月10日)・アクセント

第4課(1942年2月11日)・カタカナの書き方(ア行)

第5課(1942年2月12日)・名詞、カタカナの書き方(カ行)

第6課(1942年2月13日)・動詞(導入)カタカナの書き方(ガ行)

第7課(1942年2月14日)・文の構造、カタカナの書き方(サ行)

第8課(1942年2月15日)・動詞、カタカナの書き方(ザ行)

第9課(1942年2月17日)・代名詞、カタカナの書き方(タ行)

第10課(1942年2月18日)・数詞、カタカナの書き方(ダ行)

第11課(1942年2月19日)・補助数詞、カタカナの書き方(ナ行)

第12課(1942年2月20日)・順序数詞、カタカナの書き方(ハ行)

- 第13課 (1942年2月21日)・時間の表し方、カタカナの書き方 (バ行)
- 第14課 (1942年2月22日)・指示詞、カタカナの書き方 (ハ行)
- 第15課 (1942年2月23日)・名詞 (2)、カタカナの書き方 (マ行)
- 第16課 (1942年2月24日)・名詞のグループ (家族、郵便、野菜、果物、台所用品、)  
カタカナの書き方 (ヤ行)
- 第17課 (1942年2月25日)・名詞のグループ (3) (宗教、生活用品、店、服、色)  
カタカナの書き方 (ラ行)
- 第18課 (1942年2月26日)・名詞のグループ (4) (文化、自然、体、国、乗り物)  
カタカナの書き方 (ワ行)
- 第19課 (1942年2月27日)・文の作り方、カタカナの書き方 (キャ、キュ、キョ)
- 第20課 (1942年2月28日)・動詞 (2) (過去、現在否定、過去否定)  
カタカナの書き方 (ギヤ、ギユ、ギョ)
- 第21課 (1942年3月1日)・(筆者注; 当日分のマイクロフィルムを発見できなかった)
- 第22課 (1942年3月2日)・形容詞 カタカナの書き方 (ジャ、ジュ、ジョ)
- 第23課 (1942年3月3日)・形容詞 (2) カタカナの書き方 (チャ、チュ、チョ)
- 第24課 (1942年3月4日)・(筆者注; 当日分のマイクロフィルムを発見できなかった)
- 第25課 (1942年3月5日)・形容詞 (グループ2: なタイプ、のタイプ)  
カタカナの書き方 (ヒヤ、ヒユ、ヒョ)
- 第26課 (1942年3月6日)・副詞、カタカナの書き方 (ビヤ、ビユ、ビョ)
- 第27課 (1942年3月7日)・副詞 (グループ1)  
カタカナの書き方 (ピヤ、ピユ、ピョ)

- 第28課 (1942年3月8日)・副詞 (グループ2)  
カタカナの書き方 (ミヤ、ミュ、ミヨ)
- 第29課 (1942年3月9日)・副詞 (グループ3)  
カタカナの書き方 (リヤ、リュ、リヨ)
- 第30課 (1942年3月10日)・副詞の自制 (グループA)
- 第31課 (1942年3月11日)・副詞の時制 (グループB, グループC)  
(筆者注:マイクロフィルムの痛みが激しく範読不可能)
- 第32課 (1942年3月12日)・場所の副詞1
- 第33課 (1942年3月13日)・場所の副詞2
- 第34課 (1942年3月14日)・存在 (です、あります、います)
- 第35課 (1942年3月15日)・存在 (です、あります、います) (2)
- 第36課 (1942年3月16日)・副詞
- 第37課 (1942年3月17日)・疑問詞 (いつ・どんなにして・なぜ・どこ)
- 第38課 (1942年3月18日)・疑問詞2 (どの・どんな)
- 第39課 (1942年3月19日)・疑問詞3 (だれ・どれ・なに)
- 第40課 (1942年3月20日)・後置詞 (助詞)
- 第41課 (1942年3月21日)・後置詞 (助詞) 2 に、え、から～まで、までに
- 第42課 (1942年3月22日)・後置詞 (助詞) 3 で、と、といっしょに、とともに、  
ごろ、ぐらい
- 第43課 (1942年3月23日)・後置詞 (助詞) 4 ほど、じゅうに、にもかかわらず、

いらい、このかた、なしに、なしで、このように、  
ところへ、とき

第44課 (1942年3月24日)・後置詞(助詞) 5 さい=ときに、うちに、あいだに、  
かわりに、ために

第45課 (1942年3月25日)・後置詞(助詞) 6 ほかに、あとで、ように、ごとく、  
そって、ついて、たいして

第46課 (1942年3月26日)・後置詞(助詞) 7 たいして、むかって、かわって、  
反対して

第47課 (1942年3月27日)・後置詞(助詞) 8 したがえば、したがって、とって、  
こえて

第48課 (1942年3月28日)・文の構成3 から、ならば、とき

第49課 (1942年3月29日)・動詞の辞書形

第50課 (1942年3月30日)・(マイクロフィルムを発見できず:筆者注)

第51課 (1942年3月31日)・接続詞1 と、や、や~など、か

第52課 (1942年4月1日)・接続詞2 と、や

第53課 (1942年4月2日)・接続詞3 や~など、AかB

第54課 (1942年4月3日)・接続詞4 そうして、しかし

第55課 (1942年4月4日)・接続詞5 けれども、それから、それで

第56課 (1942年4月5日)・接続詞6 そこへ、それでは、それなら、そうなら、  
ですから

第57課 (1942年4月6日)・接続詞7 すると、そうすると、そのたび、  
それにもかかわらず、それでも

第58課 (1942年4月7日)・接続詞8 それどころか、そうでなければ、ただ

第59課 (1942年4月8日)・接続詞9 というのは、その結果、したがって、  
そのうえ

第60課 (1942年4月9日)・接続詞10 ～が、けれども

第61課 (1942年4月10日)・接続詞11 ～から、ので、時

第62課 (1942年4月11日)・接続詞12 ～と、結果

第63課 (1942年4月12日)・接続詞13 ころ、あいだ、まで

第64課 (1942年4月13日)・接続詞14 あとで、のちに、ために

第65課 (1942年4月14日)・接続詞15 ならば、なら、れば、ければ、ば=なら  
ば、と

第66課 (1942年4月15日)・接続詞16 かわりに、たびに、ように

第67課 (1942年4月16日)・接続詞17 ように、～のをのぞけば、  
～かとおもいますと

第68課 (1942年4月17日)・接続詞18 ～にもかかわらず

第69課 (1942年4月18日)・接続詞19 ～どころか

第70課 (1942年4月19日)・接続詞20 より、ほど

第71課 (1942年4月20日)・接続詞21 かぎり、かのように

第72課 (1942年4月21日)・接続詞22 ～かどうか

第73課 (1942年4月22日)・接続詞23 よりはむしろ

第74課 (1942年4月23日)・接続詞24 ～のではなく、～はなくて

- 第75課 (1942年4月24日)・接続詞25 から、ながら
- 第76課 (1942年4月25日)・接続詞26 ～でもするように、～でもしたように
- 第78課 (1942年4月26日)・接続詞28 (～ずに、ず、～ないで)  
(筆者注:4月26日は本来第77課、接続詞27のはずであるが、第77課が欠落している。)
- 第79課 (1942年4月27日)・接続詞29 ～ても、でも
- 第80課 (1942年4月28日)・接続詞30 引用の「と」
- 第81課 (1942年4月29日)・接続詞31 もし～ならば
- 第82課 (1942年4月30日)・接続詞32 もし～なら、れば、ければ、ば
- 第83課 (1942年5月1日)・接続詞33 ～たり～たりします
- 第84課 (1942年5月2日)・接続詞34 なるほど～が、しかし、～のでもなく、  
また～のでもありません
- 第85課 (1942年5月3日)・接続詞35 ～でもなく、～でもありません、  
～も～もありません
- 第86課 (1942年5月4日)・接続詞36 どんなに～ても、どんなに～でも
- 第87課 (1942年5月5日)・接続詞37 どんなに～ても、どんなに～でも、  
いくら～ても、たとえ～ても
- 第88課 (1942年5月6日)・接続詞38 ～も～も ～か～かします
- 第89課 (1942年5月7日)・接続詞39 ～ならば～ほど
- 第90課 (1942年5月8日)・動詞の用法 (連体修飾「来た人」)
- 第91課 (1942年5月9日)・動詞の用法2

- 第92課 (1942年5月10日)・動詞の用法3 ~のは、~ことは
- 第93課 (1942年5月11日)・動詞の用法4 ~のを、~ことを
- 第94課 (1942年5月12日)・動詞の用法5 ~のが、~ことが
- 第95課 (1942年5月13日)・補助動詞1 ことができます
- 第96課 (1942年5月14日)・補助動詞2 ことができます
- 第97課 (1942年5月15日)・補助動詞3 べきです
- 第98課 (1942年5月16日)・補助動詞4 べきです
- 第99課 (1942年5月17日)・補助動詞5 はずです
- 第100課 (1942年5月18日)・補助動詞6 はずです
- 第101課 (1942年5月19日)・補助動詞7 はずです
- 第102課 (1942年5月20日)・補助動詞8 ~かもしれません
- 第103課 (1942年5月21日)・補助動詞9 ~かもしれません
- 第104課 (1942年5月22日)・補助動詞10 でしょう、しょう (行きましょう)
- 第105課 (1942年5月23日)・補助動詞11 ~たいです
- 第106課 (1942年5月24日)・補助動詞12 ~たがります
- 第107課 (1942年5月25日)・補助動詞13 ~なければなりません
- 第108課 (1942年5月26日)・補助動詞14 なければなりません
- 第109課 (1942年5月27日)・補助動詞15 なければなりません

- 第110課 (1942年5月28日)・補助動詞16 ~はいけません
- 第111課 (1942年5月29日)・補助動詞17 ~はいけません
- 第112課 (1942年5月30日)・補助動詞18 ~はありません、~させます
- 第113課 (1942年5月31日)・補助動詞19 させます
- 第114課 (1942年6月1日)・補助動詞20 させます
- 第115課 (1942年6月2日)・補助動詞21 ~としています
- 第116課 (1942年6月3日)・補助動詞22 行こうとしています
- 第117課 (1942年6月4日)・補助動詞23 ~としています
- 第118課 (1942年6月5日)・補助動詞24 ~にちがいありません
- 第119課 (1942年6月6日)・補助動詞25 ~にちがいありません
- 第120課 (1942年6月7日)・補助動詞26 ~そうです (伝聞)
- 第121課 (1942年6月8日)・補助動詞27 ~かもしれませんでした
- 第122課 (1942年6月9日)・補助動詞28 ~かもしれませんでした
- 第123課 (1942年6月10日)・補助動詞29 ~かもしれませんでした
- 第124課 (1942年6月11日)・補助動詞30 ~でしょう
- 第125課 (1942年6月12日)・規則／不規則動詞1
- 第126課 (1942年6月13日)・規則／不規則動詞2
- 第127課 (1942年6月14日)・規則／不規則動詞3

- 第128課 (1942年6月15日)・受身1
- 第129課 (1942年6月16日)・受身2
- 第130課 (1942年6月17日)・受身3 (この本はみんなに読まれています)
- 第131課 (1942年6月18日)・受身4
- 第132課 (1942年6月19日)・受身5
- 第133課 (1942年6月20日)・受身6
- 第134課 (1942年6月21日)・比較1 (田中さんは山田さんよりやさしいです)
- 第135課 (1942年6月22日)・比較2
- 第136課 (1942年6月23日)・比較3
- 第137課 (1942年6月24日)・比較4
- 第138課 (1942年6月25日)・比較5
- 第139課 (1942年6月26日)・比較6
- 第140課 (1942年6月27日)・比較7
- 第141課 (1942年6月28日)・比較8
- 第142課 (1942年6月29日)・比較9
- 第143課 (1942年6月30日)・比較10
- 第144課 (1942年7月1日)・比較11
- 第145課 (1942年7月2日)・特別項目1 (「は」と「が」)

第146課 (1942年7月3日)・特別項目2 (「は」と「が」)

第147課 (1942年7月4日)・特別項目3 (「は」と「が」)

第148課 (1942年7月5日)・数の順序1

いち、に、さん/ひとつ、ふたつ、みっつ

第149課 (1942年7月6日)・数の順序2

(以上)

## 日本軍政下の香港での日本語教育 (参考資料2)

『香港日報』に掲載された「日本語講座」「放送日本語講座」

並びに日本語教育関係記事—1942年6月～1943年4月—

(解説:新聞紙上に掲載された教材)

### ○ 香港日報社について

「香港日報社」は明治42年(1908年)に創立発行されました。ですから、日本占領期にはすでに30年近くの歴史を持っていました。この「香港日報社」は、名義上は個人の経営ですが、日中戦争の勃発後、台湾総督より出資を受けていました。ですから占領当時は日本軍と近い関係にあったと思われる。

「香港日報社」とはどんな会社だったのでしょうか。「香港日報」中華民国32年(1943年)1月7日号には「香港日報の日本語版一万号を記念する」という記事が見え、総督の祝詞も載っています。祝詞の中には香港にあっては「香港日報」が唯一の日本語紙であることも述べられています。また、そこには同社の沿革が次のように記されています。

「創刊は明治42年9月1日。創立者は松島宗衛氏。大正10年10月12日創立12周年記念を最後に第2代目の井手元一社長に就任。井手社長在任中の日中戦争勃発。昭和12年12月1日日本語版の第4頁を中国語とする。昭和13年11月1日高齡を以てその職に耐えず、現衛藤俊彦氏がその職を引き継ぐ。」とあり、その創立のいきさつはともかく日本が香港を占領していた当時軍と非常に近い組織だったということは認識しておかなければならないと思います。だからこそ、占領が始まると同時に香港日報の英語版『The Hong Kong News』にも、また香港日報の中国語版にも日本語講座の連載がただちに始まったのではないかと思います。

### ○ 『The Hong Kong News』に掲載された「Japanese : A Lesson A Day」

さて、「香港日報社」は英語版の『The Hong Kong News』、日本語版の『香港日報』、中国語版の『香港日報』の3紙を発行していましたが、この英語版の『The Hong Kong News』には「Japanese : A Lesson A Day」というタイトルで英語の解説による日本語の講座が掲載されていました。筆者が確認しえた範囲で言えば、この講座は1942年2月8日から7月6日まで149回に及んでいます。英語で文法の解説がなされ、用例は全てローマ字で書かれています。

### ○ 香港日報社「香港日報」(中国語版)に掲載された「日本語講座」

上述の中国語版の『香港日報』には中国語の解説による「日語講座」が掲載されていまし

た。

同講座の内容は主に中国語による文法解説と用例です。用例は歴史的仮名遣いで書かれており、それに中国語訳が付けられています。全体の構成は次のようなものです。

- ・(第3章) 名詞 (数詞、代名詞、人称代名詞、指示代名詞等)
- ・(第4章) 動詞 (活用を中心に)
- ・第5章 形容詞
- ・第6章 助動詞
- ・第7章 助詞
- ・第8章 副詞

現在、同講座の全容を知ることができませんが、当時としてはポピュラーな構成の文法解説だったのではないのでしょうか。この講座の執筆者は分かっていませんが、当時の日本語教材、教科書と比較してみると推測できるのではないかと思います。

#### ○香港日報社「香港日報」(中国語版)に掲載された「放送日本語講座」

『香港日報』の中国語版には中国語の解説による「日語講座」と同時に「放送局播放日語講座」と題してラジオ放送による日本語学習番組が放送されていました。

日本は占領と同時に放送局を占拠し、情報をコントロールしましたが、それと同時に日本語普及のためのラジオ日本語講座を開始しています。

その内容について見てみましょう。放送時間ですが、夜7時半位から20～30分程度行なわれていました。香港日報紙上の掲載、放送時間表によれば毎日定期的に行なわれていたわけではありません。

担当講師には曾麗卿、大森幸子という名前が見えます。大森幸子という方は香港日報1943年1月25日号によれば「日本生まれ。香港在住20年以上。中山大学で日本語を教授した経歴あり。日本語にも広東語にも精通している。留日同学会理事陳李白史の夫人。」とあり戦前中国の方に嫁いだ日本人女性です。

この講座のテキストは1942年の段階で、初め「香港日報」の中国語版に掲載されていましたが、後に掲載されなくなりました。1942年9月18日の香港日報紙にも日語講座第2期6課(即原書6課)と記載されており、恐らく放送日本語用のテキストが何らかの形で出来上がったからではないかと思われます。

1943年に入り「放送日語」は前回の放送分を校正し直すような形で再登場してきます。この間の事情に関しても詳しいことは分かりませんが、ある程度経験のある日本語の教師がこうした企画に参画するようになったからかも知れません。

同じ「香港日報」の中国語版に掲載された「日語講座」と「放送局播放日語」ですが、両者を比較してみると「日語講座」が無味乾燥な文法解説であるに対して、「放送局播放日語」の方は運用重視であったことが、表記ひとつをとっても分かります。

今後、こうした一連の資料の詳しい分析が必要になると思います。

尚、この資料は香港政庁にマイクロフィルムの形で保管されています。この資料の発見者はマカオ大学の故宜野座伸治先生であり、私(斎藤)は宜野座先生の研究のお手伝いをし、先生のご指示のもと閲覧、メモを取ったにすぎない。本来これら一連の作業はすべて宜野座先生の業績に帰すべきものであることを申し添えます。

注意:[ ]は筆者の注

1942年6月10日

「放送局播放日語講座」これまでに16回の放送を行ったとある。／数の言葉

新聞記事：日本語不合格教員を3ヵ月訓練する用意あり。

日本語辞典譲ります。

学生募集／日華翻訳社・莫緒栄(個人)・日語初級晩班・港僑中学日語  
・実用日語講習所

1942年6月11日

「日語講座」第111回27～30／「段」「箇所」「～など」「～なんど」の用法

新聞記事：日本語辞典譲ります。日本語教師求む

学生募集／日華翻訳社・港僑中学日語・実用日語講習所

1942年6月12日

「放送局播放日語講座」第18回／「後編入門第92節」～マス形

新聞記事：日本語辞典譲ります。日本語勉強仲間を求む

学生募集／日華翻訳社・港僑中学日語・実用日語講習所

1942年6月13日 [新聞を発見できず]

1942年6月14日

「日語講座」第113回第3節 「名詞之数」／(2)諸君、(3)人々

第4節 「名詞の敬語」／(1)御[ゴ・オ]の使い方

新聞記事：日本語を勉強しているので同学の士を募る。学生募集／港僑中学日語

・実用日語講習所

1942年6月15日

「放送局播放日語講座」第19回／「教え方」(一人・二人／一本・二本・・・)

第3節 「名詞之数」／(2) 諸君、(3) 人々

第4節 「名詞の敬語」／(1) 御 [ゴ・オ] の使い方

新聞記事：新聞代金の改定

東亜晩報・香港日報・香島日報・華南日報・華僑日報合同の声明で学生募集  
／港僑中学日語、日本語を勉強しているので同学の士を募る。

1942年6月16日 [新聞を発見できず]

1942年6月17日

「放送局播放日語講座」 「時」の言い方

1942年6月18日

「日語講座」第115回第4節 「名詞の敬語」(1)(2)

新聞記事：日本語書籍求む。

1942年6月19日

「放送局播放日語講座」(天文／空・太陽・月・・・、地理／日本・中華民・満洲国)

新聞記事：学生募集／港僑中学日語

1942年6月20日

「日語講座」第116回 第4節 「名詞の敬語」(3)(4)(5)

新聞記事：東本願寺が近く布教所を設置

1942年6月21日

「日語講座」第117回 第5節 「名詞之格」／「が」「の」

新聞記事：日本語を勉強しているので同学の士を募る。

1942年6月22日

「放送局播放日語講座」(4) 人事 [\*人間、人間関係にまつわるもろもろ]

(5) 身体(手・足・顔・・・)

1942年6月23日

「日語講座」第118回 第5節 「名詞之格」／\*今日も暑い・この子こそ馬鹿だ・子

供すら知っている・当地では苦力まで日本語を使う。

### 1942年6月24日

「放送局播放日語講座」(6) 病気 (7) 飲食

新聞記事: 23日、磯谷総督、部下及び華人代表を率いて日語学校を視察。

総督は教育に関心を持っている。既に総督令16号、17号で日語講習所及び幼稚園に関する規程を定めている。

- ・嶺川学校(嶺川日語講習所) 東明治通り(皇后大道) 183号校長/謝仲明、  
学生数約120名、(その内昼間のクラスの学生30名)
- ・香港日語専修学校、(荷用活道) 前~~羅士女書院/[~~部分判読不可]
- ・校長/劉傳能、学生数350名、(その内大学生20名、高校生60名、中  
学生140名、小学生130名) 男子260名、女子90名、学生の最高  
年齢42歳、最小年齢7歳、  
午前、午後クラスがある。ともに2時間
- ・平正学校 学生数50名(2クラス)
- ・土居日語(日本人の土居氏の設立、) 学生数40名

### 1942年6月25日

「日語講座」第119回 第5節 「名詞之格」(2) 目的格

/\*あの人(が)が字(を)を書く。・御飯(を)食(て)行(く)かう。・目的格の下に  
ハ・モ・コソ・サエ等(を)続(け)る場合は「ヲ」を省略する

新聞記事: 港僑中学日語

### 1942年6月26日

「放送局播放日語講座」(8) 穀物野菜 (9) 衣服

新聞記事: 25日に、前の19日、23日の視察に引き続き磯谷総督部下及び華人代表を率いて日語学校を視察。・知行学校・聖保祿校・培貞女校・港華中学・華仁中学・西南委中学・聖分斯校

学生募集/港僑中学日語

### 1942年6月27日

「日語講座」第120回 第5節 「連用格」/明日澳門に行きます。

- ・弟は昨日広東へ行きました。・先生と相談しましたか。
- ・それは国から来たのです。・昭南まで行きますか。・今日は昨日より暑い。

### 1942年6月28日

「日語講座」第121回第5節 「対等格」/私は競馬と野球が好きです。

- ・緑ヶ浜か元香港へ行きます。・御菓子だの果物だの沢山あります。

- ・ 彼処(そこ)は牛やら馬やらで一杯です。・この列車に乗れば沙田なり深[セン]なりへ行かれます。

1942年6月29日

「放送局播放日語講座」(10) 家屋、家具

1942年6月30日

「日語講座」第122回 第5節 「一致格」

／弟の振東(「振東」は人名:筆者注)を呼んで下さい。

- ・ 君は商人だ。あの人は医者です。・李豊かと云ふ人が来た。
- ・ 理事長の黄様は見えました。・独逸[ドイツ]も強国である。
- ・ これは鄭様の帽子です。・香港中明治通りは賑やかでございます。

1942年7月1日

「放送局播放日語講座」(12) 学校(13) 官庁、商店

1942年7月2日

「日語講座」第123回 第5節 呼びかけ格

／坊や、早く来い。・先生よ、よく考えて下さい。・先生、大きく書いて下さい。

新聞記事:学生募集(湾仔の日本語教師)・英語版香港日報の「日本語講座」の第36課、第49課、第54課をお借りして写したい。

1942年7月3日

「放送局播放日語講座」(14) 職業(15) 交通、通信

1942年7月4日

「日語講」第124回、数詞

／(音読) 1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、百、千、万、億・一里、二冊、三足、四銭、五号、六枚、七尺、八個、十匁、百匹、千年、万年。

(訓読み) 1つ、2つ、3つ、4つ、5つ、6つ、7つ、8つ、9つ、十・一袋、二皿、三間、四品、五月、六筋、七銭、八組、九日、十日

新聞記事:守備隊日語学校第1回卒業式警備隊では日本語人材養成のため警備隊の中に日語講習所を設置。松本隊長始め宮本上等兵、黄通通訳員等が指導に当たっている。本年(1942年)4月開講。昨日(3日)第1回卒業式を挙行。松本体調自ら証書と賞品を授与した。卒業生104名。このうち元香港70名、黄色坑分校30名。[卒様式当日の写真が掲載されている]

1942年7月5日

「日語講座」第125回、代名詞

1942年7月6日

「放送局播放日語講座」(16) 雑 [色の名前、形容詞]

新聞記事: 英語版香港日報の「日本語講座」の第36課、第49課、第54課をお借りして写したい。

1942年7月7日

「日語講座」第126回人称代名詞及び表

1942年7月8日 [新聞を発見できず。]

1942年7月9日

「日語講座」第127回人称代名詞/僕・自分・手前・君・お前・貴様・複数有(方、達、共、等)

新聞記事: 文教課当局は教員のレベル向上のため「深造班」を13日開講することを正式決定した。期間4ヵ月、人員80名、4つの班(内2つの班は香港教習所、2つの班は九龍教習所集、時間は午後2時より3時間、11月卒業。

1942年7月10日

「放送局播放日語講座」片仮名と発音(ア行・カ行)

新聞記事: 学生募集/港僑中学日語

- ・ 益群日語講習所(九龍ネイザン道591号、学費3香港ドル)・個人教授

1942年7月11日

「日語講座」第128回 指示代名詞及び表

新聞記事: 学生募集/港僑中学日語

- ・ 益群日語講習所(九龍ネイザン道591号、学費3香港ドル)・個人教授

1942年7月12日 [新聞を発見できず。]

1942年7月13日

「放送局播放日語講座」片仮名と発音(3) ナ行・バ行(4) マ行・ヤ行

1942年7月14日

「日語講座」第130回 第4章動詞 第1節自動詞と他動詞／客が見える。・人が笑う。  
・子供が乳を飲む。彼は字を書く。

新聞記事：日語教師講習会開講式、九龍尖沙咀（前西人青年会）香港日語教員講習所にて  
挙行。長尾文教課長、民治部長、劉鉄誠氏参加。（期間4ヵ月、人員80名、4  
つの班（内2つの班は香港教 習所、2つの班は九龍教習所集、時  
間は午後2時より3時間、11月卒業。）

1942年7月15日 [新聞を発見できず。]

1942年7月16日 [新聞を発見できず。]

1942年7月17日

「放送局播放日語講座」片仮名と発音（8）ダ行・バ行（濁音）、（9）パ行（半濁音）

1942年7月18日

「日語講座」第132回 動詞の変化（1）未然形「第一変化」（2）連用形「第二変化」  
（3）終止形「第三変化」（4）連体形「第四変化」（5）已然形「第五変化」  
（6）命令形「第六変化」

新聞記事：第二期講習生卒業（300名）香港における教員数は7百余名。

1942年7月19日

「日語講座」第133回 動詞の変化（1）未然形「第一変化」／私は行かない。  
金は要らない。（2）明日酒を飲もう。

1942年7月20日 [新聞を発見できず。]

1942年7月21日 [新聞を発見できず。]

1942年7月22日

「放送局播放日語講座」片仮名と発音（12）拗音

読者意見 [投書] 日本語は東亜の公用語として大きな勢いを持っている。華人も日本語  
を学習している。現在日本語学習書籍も少ないとは言えず、日本語学校も多  
い。日本と中国の文化交流を考える時、当局あるいは公共団体が無料または  
費用の極めて安い学校を作るべきである。そうすれば一般市民も学習する機  
会が多くなり、日中間の文化交流上有益である。

1942年7月23日

「日語講座」第135回 動詞の変化(2)連用形／僕は行き彼の人<sup>は</sup>来る。  
僕は行つて来る。

1942年7月24日

「放送局播放日語講座」片仮名と発音(13)長音

1942年7月26日

新聞記事：昨日、私立学校教員の認可が出た。私立学校男教員90名、女教員132名、  
私立幼稚園保母9名。

1942年7月27日

「放送局播放日語講座」片仮名と発音(14)長音 [その2]

1942年7月28日

「日語講座」第136回 動詞の変化(2)連用形／第二変化の用法、  
1) 今夜は早く寝ます。・散歩をしませう。2) 雨が振りさうです。  
3) 友達が来た。4) 私は船に乗つて・広東へ行きます。  
5) 日が暮れては帰られません。6) 親が死んでも帰りません。

1942年7月29日

「放送局播放日語講座」片仮名と発音(15)拗長音

1942年7月30日

「日語講座」第137回 動詞の変化(2)連用形／第二変化の用法 [続き]、  
7) 朝は字を書いて夜は本を読む。8) 風が吹き雨が降る。  
9) 私の願いは此だけです。10) 彼がその犬を斬り殺した。  
此を取り替えて下さい。

1942年7月31日

「放送局播放日語講座」入門、(1) これ、それ、あれ [これはつくえです]。  
(2) これは何ですか。(3) はい、そうです。いいえ、そうではありません。

1942年8月1日

「日語講座」(138回) 3、終止形／敵が来るとも恐れませんが、倒れとも止まない。

1942年8月2日

「日語講座」(139回) 4、連体形／張さんが来る。・行きを送り帰りを迎ふ。

新聞記事：香港日報星期増刊第7期の1942年8月2日号には「～～日語講習所」  
という写真が見える [～～部分は判読できない：筆者注]

1942年8月3日

「放送局播放日語講座」4) ここ、そこ、あそこ、5) ここに～あります。

6) だれの～ですか。

新聞記事：講習所第3回大会を開く。江原顧問訓辞

1942年8月4日

「日語講座」(140回) 4、連体形 [続き] /雨が降るでせう。・風が吹くだろ。

そんな子は捨てるべきだ。それは飲むべきものだ。

1942年8月5日

「放送局播放日語講座」(7) 数、(8) 時間

「日語講座」(141回) 4、連体形 [続き] /何 [人名：筆者注] 様がすぐくるそうです。

- ・大雨が降るそうだ。・明日演芸会はやるまい。・あの子供が菓を飲むまい。
  - ・御茶を飲むか。・怠者は勉強するか。明日雨が降るでせう。・風が吹くだろ
- う。

1942年8月6日

「日語講座」(142回) 4、連体形 [続き] /客に酒を強いるな。・遅く寝るな。

- ・雨が降ると道が悪くなります。・運動すると体が強くなる。
- ・私は用事が有るから行かれませんか。・僕が5時に出発するから御飯を早く出して呉れ。

1942年8月7日

「放送局播放日語講座」銀行へ行きます。

新聞記事：「平山日語」成績優秀。学生250名。普通科3班、高等か2班。

所在地は西環。5月1日開始。日本軍のある部隊によって創設された。  
ある部隊が直接人員を送り指導に当たるほか郭炎秋氏が教えている。

1942年8月8日

「日語講座」(143回) 4、連体形 [続き] /雨が降るが道は悪くない。

- ・ 彼女が来るけれども邪魔にはならない。・本を買うやら靴を買うやらして金がなくなりました。・パンもあるが菓子もある。・朝7時に発車する。鳥が鳴く。・月の出る夜は景色が良い。

1942年8月9日

「日語講座」(144回) 4、已然形／朝早く起きれば仕事ができる。・月が出れば山が見える。・あの人は本も読めば字も書く。・君は歴史も研究すれば地理も研究します。

新聞記事: 「日本文研究法」{本の名前}に関する記事

1942年8月10日 [新聞を発見できず。]

1942年8月11日

「日語講座」第145回 (3) 命令を表す表現／早く行け。・その薬を飲め。  
・それを私に下さい。・知らないと仰やい。 4、命令形／よくこれを見ろ。

1942年8月12日

「放送局播放日語講座」1、時 / 春・今年・毎年・午前・年末  
2、天文／空・太陽・天気・蒸し暑い・涼しい

1942年8月13日

「日語講座」第146回 動詞の活用の分類 (1) 四段活用 (2) 上一段活用  
(3) 下一段活用 (4) カ行変格活用 (5) サ行変格活用

1942年8月14日

「放送局播放日語講座」3、地理 4、人事

1942年8月15日

「日語講座」第147回 四段活用の例

1942年8月16日

「日語講座」第148回 上一段活用の解説

1942年8月17日 [新聞を発見できず]

1942年8月18日

「日語講座」第150回 下一段活用の解説

新聞記事:華人各協議会、政府に無料日語学校ならびに漢文学校の設置を請願予定

1942年8月19日

「日語講座」第151回 カ行変格活用の解説

1942年8月20日

「日語講座」第152回 サ行変格活用の解説

新聞記事:社説「日本語教育普及に関する問題」日本語教育は大東亜文化建設のため、日中間の文化交流を推進する上でぜひとも必要である。香港人は日本語学習の必要に迫られている。しかしながら、経済的・時間的な問題で実現できないものもある。我々はこうした状況を顧み、次の4つの意見を申し上げたい。

- (1) 無料日本語学補修学校及び夜間学校の設置。
- (2) 市民に日本語学習及びその興味を持たせるようにすること。
- (3) 香港市民が必要とする応用のできる語彙、例文を盛り込んだ当局の専門家の編集に依る日本語教科書。香港では数多くの日本語教科書が印刷されているが実用に足るものは極少ない。
- (4) 日本語教師を人選、選抜すること。

1942年8月21日

「日語講座」第153回 サ行変格活用の解説

1942年8月22日

「日語講座」第154回 動詞の用法／あの方は徳が有るから人が心服します。

- ・今日は風が吹くので埃が立ちます。

新聞記事:9月1日より「国民学校」開校

1942年8月23日

「日語講座」第155回 動詞の用法 [続き] / (2) 僕らは自分の当然為すべき事は為る(が/けれども)自分に関係の無い事には手出しはしません。(3) 虎が吼えると他、鳥獣が皆震え上がる。物体は熱を加へれば膨脹する。(4) 病気の時には、何を食べても旨くない。

1942年8月24日

「日語講座」第156回 動詞の時 (1) 動詞の現在、今日は風が吹く。・諸君は今協会に居る。(2) 動詞の過去、今後行つたら屹度御土産を買つてあげます。・毎月行つたり来たりして随分旅に慣れた。

1942年8月25日

「日語講座」第157回 (3) 動詞の未来 私は明朝9時の列車で粉嶺へ行く。・明日の晩餐会に私も出ようと思います。・来月になったら気候が一層悪くならう。

1942年8月26日 [新聞を発見できず]

1942年8月27日

「日語講座」第159回 第7節 音便

1942年8月28日

「日語講座」第160回 第7節 音便 [続き]

1942年8月29日

「日語講座」第161回 第8節 敬語動詞と補助動詞 貴方は明日御帰りなされるか。  
・これから御助け申す。

1942年8月30日

「日語講座」第162回 第8節 敬語動詞と補助動詞 [続き] あの人が帰ってきました。・御湯は御座いません。・貴方は何をおつしやいますか。・あなた方の成さることなら決して間違いはありますまい。

1942年8月31日

「日語講座」第163回 第8節 敬語動詞と補助動詞 [続き] 何処へお出になりますか。・何処からおいでになりましたか。・近頃は何を遊ばして入らつしやいますか。・御風呂に御召しなさいまし。

新聞記事：香港の小学校学生募集一覧

鑰智 (男女) 中学／麗澤中学／徳明 (男女) 中学／徳貞女中学  
／聖保祿女中学／華仁中学／港僑中学／信修女中学／知行中学  
／光華 (男女) 中学／西南 (男女) 中学／九龍塘学校

1942年9月1日

「日語講座」(164回)・思召す (あなたの思召しは如何ですか。)  
・上がるー召上がる (何卒沢山召上がりなさい。)  
・見える (先生が見えました。)  
・下さる (お茶を一杯下さい。)  
・御覧じる (貴方活動写真を御覧なさい。)

### 1942年9月2日

「日語講座」(165回)・申上げる(私は決して嘘を申し上げません。)  
・承る(左様な御話はまだ承りません。)  
・伺う(明日屹度御宅へ伺いませう。)  
・上げる(粗末な菓子ですが坊ちゃんに上げて下さい。)

新聞記事:西南中学予定通り学期を開始

### 1942年9月3日

「日語講座」(166回)・戴く(御土産は確かに戴きました。)  
・拝見する(此の雑誌を拝見致します。)  
・拝借する(少々筆を拝借します。)  
・御用立てる(先日御用立てて置きました書物を御返し下さい。)  
・申す(私は汪洋と申します。)

新聞記事:学生募集(日本語個人教授)

### 1942年9月4日

「日語講座」(167回)・致す(私は決してそんなことは致しません。)  
・参る(明日又参ります。)  
・存ずる(私は一向存じません。)  
・御座る(私は智慧も学問もございません。)  
恵4、連体形[続き] / 雨が降るでせう。風が吹くだろう。そんな子は捨てるべきだ。それは飲むべきものだ。

新聞記事:華人教育振興のため政府は3校に補助金を出す。

### 1942年9月5日

「日語講座」(168回)・有る(彼は金満家であります。)  
・遣る(君らの過失を宥して遣る。)  
・呉れる(姉様が御飯を肴えて呉れる。)  
・貰う(医者に病気を治して貰う。)  
・見る(日本へ行って実地研究をして見る。)  
・置く(窓を明け放して置く。)  
・仕舞う(小説は皆読んで仕舞ひました。)

### 1942年9月6日

「日語講座」(169回) 第5章 形容詞 第1節、形容詞の活用・あの家は古く見えます。  
・古い家は不潔です。・家が古ければ衛生上に悪うございます。・此の家は新しく見えます。・此の家は新しい。・新しい家は清潔です。・家が新しければ衛生上に善うございます。

新聞記事:無料日本語学校第3期学生募集、波第8510部隊設立「平山日語」責任者は和田修、主任教師は郭炎秋、1. 初級班(松組)50名 2. 初級班(梅組)50名 3. 中級(竹組)10名 4. 高級班20名 5. 申し込み / 9月6日から8日まで 7. 場所 / 本校2階 8. 学費 / 無料 9. 試験 10. 入学発表 11. 授業時間 / ・初級(松組)火、木、土の午後5時から6時・初級(梅組)火、木、土の午後7時から8時・中級(竹組)月、水、

金の午後5時から6時・高級(菊組)月、水、金の午後7時から8時 12.  
開講9月14日

### 1942年9月7日

「日語講座」(170回)第5章 形容詞 第1節、形容詞の活用 [続き] 新聞記事\*英語版の「日語講座」第77課、101課以後の記事をもっている人は是非貸してほしい。

### 1942年9月8日

「日語講座」(171回)第5章 形容詞 第2節、形容詞の使い方・今朝遅く学校に出ました。・恭しく紙の前に礼拝をする。・兄は赤の帽子と黒の靴とを買って居る。・妹は駐車場の近くに居る。

新聞記事:無料日本語学校第3期学生募集、波第8510部隊設立「平山日語」責任者は和田修、主任教師は郭炎秋、1.初級班(松組)50名 2.初級班(梅組)50名 3.中級(竹組)10名 4.高級班20名 5.申し込み/9月6日から8日まで 7.場所/本校2階 8.学費/無料 9.試験10.入学発表 11.授業時間/・初級(松組)火、木、土の午後5時から6時・初級(梅組)火、木、土の午後7時から8時・中級(竹組)月、水、金の午後5時から6時・高級(菊組)月、水、金の午後7時から8時 12.  
開講9月14日 [9月6日と同じ内容:筆者注]

### 1942年9月9日

「日語講座」(172回)第5章 形容詞 第2節、形容詞の使い方・～さ、～み  
/かり活用

新聞記事:「新亜日語学校」夜間班を増設。中環、永吉街16号、4階。総督部文教課認可。開講以来成績が優れている。日本人の主任が指導に当たっており発音は正確である。現在夜間班を増設。授業料は安い。

### 1942年9月10日

「日語講座」(173回)第5章 形容詞 第2節、形容詞の使い方 [続き]

- ・君の境遇は余程苦しかろう。・前にこの店の評判は大変好かった。
- ・父母の命長かれと祈る。～なり活用

### 1942年9月11日

「日語講座」(174回)第5章 形容詞 第2節、形容詞の使い方 [続き]

- ・静かにおやすみ下さい。・公平な態度で処置する。・否なら否とはっきり答えて下さい。・～だ活用・あの人、様子は余程変挺だらう。・今度の航海は

浪が穏やかで大変愉快だ。彼の書生時代は随分元気だった。・～です活用・  
今度の展覧会には傑作が多いから来賓が屹度多いでせう。

#### 1942年9月12日

「日語講座」(175回) 第5章 形容詞 第2節、形容詞の使い方 [続き]

・此の前の展覧会にも来賓が1万人あまりでした。・此の絵は一寸見た所は手  
際が好いです。第6章 助動詞 第1節 意義と分類 (1) 使役・生徒に日  
本語を習わせる。・生徒に過ちを改めさせる。(2) 被使役 [受け身]・子供は  
父に打たれる。・生徒は先生に褒められる。

新聞記事：(学校ニュース) 明治通り183号の峯川日語講習所は開講以来成績優秀。  
現在更に香港日語講習所講師宗月峰氏をお招きし高級クラスの主任とする。

#### 1942年9月13日

「日語講座」(176回) 第6章 助動詞 第1節 意義と分類 [続き]

(3) 可能・行けば行かれる。・来れば来られる。(4) 尊敬・彼もそうは云  
はれない。・閣下も左様仰せられました。・殿下は離宮へ行幸あらせられる。  
(5) 推量・花が咲くだらう。・花が咲くでせう。・花が咲くらしい・花が  
咲かう。・間もなく落ちよう。

新聞記事：私立学校教員36名が認可される。

[認可番号が768番で終わっているということは総督部の認可を受けた教師  
が9月13日の時点で768名だったと思われる：筆者注]

#### 1942年9月14日

「日語講座」(177回) 第6章 助動詞 第1節 意義と分類 [続き]

(6) 願望・是非あの学校に這入りたい。・(7) 指定 [断定]・これは僕の写  
真だ。・父も医者なし [ママ：筆者注] 子も医者です。(8) 比況・人生は  
夢のようである。・落葉は予期のような。(9) 否定・僕は知らぬ。・僕は知  
らない。・君も知るまい。

#### 1942年9月15日

「日語講座」(178回) 第6章 助動詞 第1節 意義と分類 [続き]

(10) 時・花が咲いた。花が落ちよう。・花が咲かう。 第2節 活用と接続

#### 1942年9月16日

「日語講座」(179回) 第2節 活用と接続 [続き]

1942年9月17日

「日語講座」(180回) 第2節 活用と接続 [続き]

1942年9月18日

新聞記事:(放送番組表) 7時40分～8時、日語講座第2期第6課(即原書第6課) 大森幸子女士 教授

1942年9月19日

「日語講座」(181回) 第7章 助詞 第1節 特質と分類

1942年9月20日

「日語講座」(182回) 第7章 助詞 第2節 格助詞(が)

1942年9月21日

「日語講座」(183回) 第7章 助詞 第2節 格助詞 [続き] (の/に)

1942年9月22日

「日語講座」(184回) 第7章 助詞 第2節 格助詞 [続き] (へ/と/を)

1942年9月23日

「日語講座」(185回) 第7章 助詞 第2節 格助詞 [続き] (より/から/まで)  
新聞記事: 香港総督近く教員養成所を設立の予定。

1942年9月24日

「日語講座」(185回) 第7章 助詞 第2節 格助詞 [続き] (で) 第3節 副助詞(さえ)

1942年9月25日 [新聞を発見できず]

1942年9月26日

「日語講座」(187回) 第7章 助詞 第3節 副助詞 [続き] (ばかり/やら/ても)

1942年9月27日

「日語講座」(188回) 第7章 助詞 第3節 副助詞 [続き] (だけ/ぐらい)  
第4節 係助詞

1942年9月28日

「日語講座」(189回) 第7章 助詞  
第4節 係助詞 [続き] (も／な／こそ／か／しか)

1942年9月29日

「日語講座」(190回) 第7章 助詞 第5節 接続助詞  
新聞記事:人口調査、香港の人口百万に達す。

1942年9月30日

「日語講座」(191回) 第7章 助詞 第5節 接続助詞 [続き]  
(けれども／つつ／し)

1942年10月1日

「日語講座」(192回) 第7章 助詞 第6節 終助詞と接続助詞 (さ／え／ぜ／な)

1942年10月2日

「日語講座」(193回) 第7章 助詞  
第6節 終助詞と接続助詞 [続き] 間接助詞 (よ／や／ね／ぞ)

1942年10月3日

「日語講座」(194回) 第8章 副詞

1942年10月4日

「日語講座」(195回) 第8章 副詞 [続き]

1942年10月5日

「日語講座」(196回) 第8章 副詞 [続き]  
(新年を祝し並びに貴方の万福を祈ります。・私は先ず広東に行きそれから  
上海へ回ります。・私は支那料理或いは日本料理を食べる積もりです。)

1942年10月6日

「日語講座」(197回) 第8章 副詞 [続き]  
(・彼は非常に勉強します。其だから何もよくできます。・毎日授業は午後3  
時までです、尤も土曜だけは12時までです。)

1942年10月7日 [新聞が残っていない]

**1942年10月8日**

「日語講座」(199回) 第8章 副詞 [続き]

新聞記事: 香港本願寺日語学校今月11日開講、住所(灣仔道) 授業時間(10月11日より、午後7時から9時まで)

**1942年10月9日**

「日語講座」(200回) 第8章 副詞 [続き]

**1942年10月10日**

「日語講座」(201回) 第8章 副詞 第2節接尾語

新聞記事: 読者投稿「我読日語的心得」

**1942年10月12日**

「日語講座」(202回) 第8章 副詞 第2節接尾語 [続き]

**1942年10月14日**

新聞記事: 文教局の指導のもとに華人教育が盛んになりつつある。日本語教科書も積極的に編纂中である。(現在日本語普及事業としては各学校に日本語教員がいるがそのレベルが低いため、日本語を正しく教えるための日本語教科書の作成が問題となっている。予定では来年3月にはできあがる。)

**1942年10月19日**

新聞記事: 華南美術展覧会作品募集の広告、主催は「中日文化協会広東省分会、後援は中山日報(広州)、南支日報(広州) 香港日報(香港) 西南日報(澳門)、粵東報(油頭)、全 日報(廈門) 海南迅報(海南島)

**1942年10月25日**

新聞記事: 華南美術展覧会作品募集の広告 [19日と同様]

主催は「中日文化協会広東省分会、後援は中山日報(広州)、南支日報(広州) 香港日報(香港) 西南日報(澳門)、粵東報(油頭)、全 日報(廈門) 海南迅報(海南島)

**1942年10月30日**

新聞記事: (放送時間表) 7時40分日本語講座第2期第15課大森幸子女士教授

### 1942年11月1日

新聞記事:「香港更生1周年記念」の戯曲の募集、主催は香港日報社、後援は香港占領地総督部報道部 [10月下旬からしばしば掲載される]

### 1942年11月2日

新聞記事:「日本倶楽部」設立、会長は小野六郎

### 1942年11月12日

新聞記事:日本の文部省では日本語、日本文化を教授できる人材を選び南方へ派遣・日本語のできる秘書を求む。(香港占領地総督部華人代表会)・日本語通訳を求む。(松原ホテル619号室に連絡下さい)・警備隊日本語学校の同窓会設立、香港地区警備隊日本語学校全校学生数250人。同窓会記念大会を行った。参加者警備隊情報主任「久戸瀬」(筆者注:活字の読み取りが難しい、或いは「久戸清」かもしれない)校務主任揚泰山。

### 1942年11月13日

新聞記事:・占領1周年記念大会の内容(1)戦争を貫徹するための民衆大会(2)運動会(3)写真展覧会(4)映画(香港攻略記録)の上映(5)ラジオ放送による講演(6)「日独義軸心」音楽の放送(7)記念切手、記念絵はがきの発行・「在大東亜戦争中 記念 国父誕辰」と題する 汪兆銘の文章

### 1942年11月14日

新聞記事:・華人で日本留学を志す者は速やかに申し込みを。

### 1942年11月15日

新聞記事:・(広告)「中国青年第1回 日語弁論会」目的は日中の文化交流、日本語学習奨励である。主催は香港日報社、後援は香港占領地総督部報道部  
・本紙日語弁論大会を發起。

### 1942年11月18日

新聞記事:・香港地区事務所は華人日語研究所を設立

### 1942年11月19日

新聞記事:・日語教員講習会、明日卒業式。参加70名、期間4ヵ月。  
香港教員講習所(香港麦当奴道33号)にて挙行予定。

**1942年11月20日**

新聞記事: ・ラジオを改造しなくてはならない旨の記事。・(放送番組表) 7時40分～8時、  
日語講座、第2期第24課、大森幸子女史教授

**1942年11月22日**

新聞記事: ・昨日(21日)全香港私立学校校長会設立

新聞記事: ・九龍に「興亜日語研究所」は本月15日より夜間の日語班を増設

**1942年12月2日**

新聞記事: ・占領1周年記念大会の一つである民衆大会(日本倶楽部広場にて)  
「香港日報」に見られる日本語、日本語教育関係記事/1942年12月

**1942年12月4日**

新聞記事: ・九龍に「興亜日語研究所」は本月15日より夜間の日語班を増設

**1942年12月12日**

新聞記事: ・占領1周年記念大会の一つである民衆大会(日本倶楽部広場にて)

**1942年12月15日**

新聞記事: フリピンで教育制度を改革

**1942年12月20日**

新聞記事: 日本留学のよい機会である。華民代表劉鉄誠氏語る。

**1942年12月21日**

新聞記事: 日本の雑誌大量に香港に到着。

**1942年12月22日**

新聞記事: ・占領1周年記念大会の一つである写真展本日開幕。(昭和通りの玉屋デパートにて)

**1942年12月23日**

新聞記事: ・汪主席は東条首相と会談。汪主席は天皇と会見。

## 香港総督部報道部「日本紹介写真展」開幕

1942年12月24日

新聞記事：・興亜日語研究所は祝賀会を催す。

(放送番組表) 6時40分「香港重光1周年之祝言講演」、  
西南中学校教員許華森先生

1942年12月25日\*「香港日報増刊」

新聞記事：・「更生香港1周年記念特別号」の教育の欄／これまでの奴隷化教育、  
洋化教育から香港を救う教育。香港の教育改革には総督部文教課が貢献して  
いる。教員講習所の開設。日本人子弟のための教育。学生数200名

1942年12月26日

新聞記事：・香港更生1周年を記念し、磯谷総督自ら日本語でラジオ放送。  
放送は北京語、広東語で繰り返し放送された。

1942年12月27日

新聞記事：・昨日(26日)ラジオ放送で小学生たちによる演奏、歌が放送された。  
中には日本語の曲もある。(「桃太郎」「浜千鳥」等)  
・香港日語専修学校第2期百余名、卒業式

1942年12月28日

新聞記事：・明日、日語弁論大会举行

1942年12月29日

新聞記事：・今夜、日語弁論大会举行(新世界劇院)演題と参加者は下記の通り  
(1)日本と大東亜主義(月峯日語校 陳劍虹/男) (2)現代青年の使命(香  
督日語校任景漢/男) (3)我らの職務の立場から(総督部自動車班 林祖  
英/男) (4)日本語の学習(香督日語校 揚麗姫/女) (5)黎明香港の  
将来(新興洋行 関宗~/男) (6)我ら東京青年の覚悟(月峯日語校 鄭  
慧英/男) (7)香港中華青年の使命(香港日報 陳桂森/男) (8)日本  
と中国は兄弟である(香督日語校 蔡源章/男) (9)新香港(月峯日語校  
亮麗~/男) (10)大東亜戦争と我々中国女性の覚悟(総督部 張恵美/  
女)

1942年12月30日

新聞記事：・昨夜午後6時より新世界劇院にて日語弁論大会が盛大に挙行された。  
(写真および記事あり)・「日語在香港」王光／香港で日本語盛んになってきている。前日本語講習所日文科主任宗月峯先生の「月峯高級日語学院」は香港の文化水準向上に貢献している。

## 1943年

1943年1月2日より6日まで [新聞は発見できず。]

### 1943年1月7日

新聞記事：「香港日報」日本語版1万号に達する。創刊は明治42年9月1日「香港日報」主催の「中国青年日語弁論大会」「香港建設の歌」「香港音頭」(日本の歌謡)の入選者に賞品品授与(香港日報社3階会議室にて)・[広告欄]天理日語学校招收第2届新生／(1)主催、本校は日本天理教華南伝道庁出張所主催の広東天理日語学校の分校である。(2)住所、灣仔竹居代1号全間(3)募集クラス、初等科・中等科・高等科・研究科(4)期間、3ヵ月(5)教員、日本人が授業に当たる。(6)申し込み期間、1月7日から1月15日まで校長、福原登喜

### 1943年1月8日

新聞記事：総督記者会見、思想文化について(1)東方の文化を以て西方の文化を消化する。(2)本年は華人教育に力を入れる。・当局、教員78名を認可・各「区」の日語班整備される。・「旅港留日僑聯誼会召集新年懇親大会のお知らせ」[日本へ留学したことのある香港在住の中国人の集まりとも考えられる。：筆者注]

### 1943年1月9日

新聞記事：「旅港留日僑聯誼会召集新年懇親大会」本日開催

### 1943年1月13日

新聞記事：香港地区警備隊本部設立の無料日本語学校第高級科、昨日卒業式を行った。  
卒業者は揚麗姫等48名、同校では「高級深造班」の増設、第2期高級班の開講を予定。

### 1943年1月14日

新聞記事：香港地区警備隊本部は今日までに半年であるが、第1期高級班、第2期諸旧版が卒業した。設立の無料日本語学校第高級科、昨日卒業式を行った。同校では

「高級深造、造班」を増設、第2期高級班、第3期諸旧版を開講予定。

**1943年1月15日**

新聞記事：半島酒店主人「横山」氏、無料の日本語学校を開設。成績優秀者は日本へ行って研修を行うことも可能。

**1943年1月16日**

新聞記事：香港地区警備隊日語学校の申し込みは明日まで。

**1943年1月18日**

新聞記事：香港総督部成立1周年記念の写真展の写真募集、主催は香港日報社、後援は総督部報道部

**1943年1月20日**

新聞記事：華人6名が日本へ留学

**1943年1月21日**

新聞記事：児童向け放送で4名の小学生に作文を読ませる。題は「中国対英美宣戦中国児童應有之認識」(1)光華中学付属小学6級生 関景賢(男)(2)信修中学付属小学6級生 鐘婉帆(女)(3)港僑中学付属小学5級生 潘文偉(男)(4)麗澤女子中学付属小学6級生 卓麗娥(女)

**1943年1月23日**

新聞記事：香港地区警備隊本部日語学校800人の学生を抱える。施設の関係で希望者を収容仕切れないの遺憾なことである。主任は揚泰山

**1943年1月23日**

新聞記事：チ早[「ちはや」と読ませるのか。：筆者注]日語、無料日本語講習所、横山太郎氏設立。住所は九龍湊区金麻倫。創立者の横山氏の他台湾人も指導に当たっている。・時代日語学校開校。前教員講習所主任講師陳偉勳、栗原太郎、盧詠裳等が指導。住所は毎時通り中国銀行4階

**1943年1月24日**

新聞記事：「留日旅港華僑」よりのお知らせ、10日の集まりには200名が参加、しかし時間の関係で連絡先の分からない人がいる。会員名簿を作成したいので連絡をしてください。連絡先は明治通り24号2階、「留日同学会」まで。留日旅港華

僑聯誼会理事会。「留日同学会」よりのお知らせ、香港を離れ故郷に帰った人もおり、住所が変わった人もいたので新たに会員名簿を作りたい。連絡先は明治通り24号2階、「留日同学会」まで。留日同学会理事会。

1943年1月25日

新聞記事：広東語講習所、日本人に広東語を教える唯一の学校。学生数百余名。講師は香港大学の偉達先生（戦後日本語学校は雨後の竹の子のように増えたという記述がある。）・放送日語講座今晚再開。講師は大森幸子女史。大森幸子女史は日本生まれ、留日同学会理事陳李白氏の婦人。20年以上香港にお住まい。中山大学で日本語を教えたことがある。日本語はもちろん広東語にも精通している。  
日本語講座（1）五十音図

1943年1月27日

放送日本語講座（2）かたかな（2）[濁音、拗音]  
新聞記事：日本倶楽部で刀剣講演会

1943年1月28日

放送日本語講座（2）かたかな（2）[濁音、拗音]  
新聞記事：[広告] 香港西本願寺日語学校学生募集、2月1日より、初級班毎日午後7時から8時まで、中級班毎日午後8時から9時まで。

1943年1月29日

放送日本語講座（3）3顔・目、耳、鼻、口、歯、頬、眉、額、頭、4数、一二三四五六七八九十  
新聞記事：[広告] 香港西本願寺日語学校学生募集、2月1日より、初級班毎日午後7時から8時まで、中級班毎日午後8時から9時まで。

1943年1月30日

新聞記事：タイのバンコクに日本文化館ができる。

1943年1月31日

新聞記事：[広告] 興亜日語研究所、高級班、初級班、教授は葉緑、陳偉勳、住所は旺角原日知用中学

1943年2月1日

放送日語語（4）4体・喉、首、肩、手、腕、胸、腹、背、腰、足、股、臍、踵、皮膚（皮）、

肉、骨。5人の数・ひとり、ふたり、～三百人、六百人～一万人、一億人  
新聞記事:[広告] 興亜日語研究所、高級班、初級班、教授は葉緑、陳偉勳、住所は旺角原  
日知用中学

### 1943年2月2日

新聞記事:華籍記者、日本語を学習

[広告] 明治劇場にて東宝映画の「ハワイ・マライ海戦記」を上映

### 1943年2月3日

[広告] 明治劇場にて東宝映画の「ハワイ・マライ海戦記」を上映 [大きい広告:筆者注]  
新聞記事:日中文化協会広東分会、無料の日本留学の試験を行う。香港の青年も応募でき  
る。

### 1943年2月5日～9日 [新聞発見できず。]

### 1943年2月10日

放送日語講座(6) 9挨拶・おはようございます。みなさん、おはようございます。今日  
は。皆さん今日は。今晚は。皆さん今晚は。お元気ですか。ありがとうございます  
ございます。おかげさまで元気です。好い天気ですね。本当に好いお天気で  
す。さようならあ。お休みなさいませ。19日の数・いちにち、ふつか、  
みっか～はつか、にじゅうろくにち、さんじゅうにち。

### 1943年2月11日

新聞記事:連絡先の変った人は連絡ください。新たな入会者も歓迎。留日同学会「旅港  
留日華僑」よりのお知らせ、連絡先の変った人は連絡ください。新たな入会  
者も歓迎する。

・国民学校、紀元節を祝い学芸会

### 1943年2月12日

放送日語講座(7) 11. これはなんですか。

### 1943年2月13日

新聞記事:当局の援助のもと学生数増加

### 1943年2月14日

新聞記事:日本人の組合「大和組合」成立。洛克の日商。

### 1943年2月15日

「放送日語講座」(9) 12. 「いる と います」 犬がいます。牛と馬がいます。  
鶏いません。あそこにいるのわ何ですか。あれは猫です。曹さんわい  
ますか。はい、おります。むこうに、立っているのわ、誰ですか。張さ  
んです。張さんわ何をしているのですか。友達を待っているのです。王  
さんはそこにいますか。いま、おりません。何処にいますか。あの人は  
家で仕事をしています。

新聞記事：広東省の日本へ留学生（無償）12名今月中に日本へ向かう予定。

### 1943年1月16日

新聞記事：本社主催「明朗香港建設」写真展玉屋百貨店2階にて開催。華人6名が日本へ  
留学、鄭宝～女史、方乃～女史、何国浩、何国剣、莊以淳、李～。等〔～部分  
は活字が不鮮明で読み取りができない：筆者注〕

### 1943年2月17日

「放送日語講座」(10) 13. ある・あります机があります。ここに筆があります。その  
机の上にあるのはなんですか。硯です。墨はありますか。はい、ありま  
す。鉛筆わ何本ありますか。5本あります。そこに万年筆がありますか。  
いいえ、ありません。その部屋にわ寝台があります。筆筒もあります。  
椅子わありません。そこにある本箱わ誰のですか。そこにあるのわ私の  
です。

### 1943年2月19日

「放送日語講座」(11) 14. 字を書く妹が字を書いています。絵を書く。兄さんが絵を  
書いています。飛行機の絵を書いています。飛行機が空を飛んでいる  
絵です。姉さんわ何をしていますか。姉さんわ本を読んでいます。何  
の本を読んでいますか。学校の本を読んでいます。熱心に勉強をして  
います。むこおで友達が手を振っています。私を呼んでいます。友達  
わ黒い洋服を着ています。円い帽子を被っています。左の手に皮の鞆  
を持っています。

### 1943年2月20日

新聞記事：総督部成立1周年。総督部成立1周年写真展開幕、玉屋デパート2階にて。

〔広告〕日本語－広東語の通訳募集、香港精糖工場

### 1943年2月24日

「放送日語講座」(12)15. 学校／これわ私たちの学校です。石の門があります。教室が沢山あります。教室には黒板と机があります。ピアノもあります。学校に広い運動場があります。運動場で生徒が体操をしています。先生が号令をかけています。運動場の隅に小さな花園 [はなぞの] があります。青い花 紅い花 白い花も咲いています。花園の中に池があります。池に金魚が泳いでいます。可愛い金魚です。一匹 二匹 三匹 四匹 全部で四匹います。

### 1943年2月26日

「放送日語講座」(13)16. ここどこ／此処わ何処ですか。此処わ香港の大正公園です。道の両側に広い芝生があります。むこおの高い建物わ何ですか。あれわ香港占領地総督部です。屋根の上に「日の丸」の旗が立っています。大きな建物が沢山見えます。建物のむこおに海が見えます。海に船が浮かんでいます。汽船が静かに動いています。渡し船が走っています。九龍の街も見えます。遠くの山も見えます。美しい景色です。絵のように美しい景色です。

新聞記事：宗教家懇談会開催50余名 [筆者注：次のような団体の名前も見える。日本基督青年会、日本基督教会、金光教、西本願寺、東本願寺、日連宗、曹洞宗、広東日本基督教会]

### 1943年2月28日

新聞記事：人材養成のため [香港東亜学院] を4月に開校予定。

### 1943年3月1日

「放送日語講座」(14)17. ました／私わ毎朝7時に起きます。今朝も7時に起きました。最初に窓お明けました。好いお天気でした。可愛い小鳥の音が聞こえました。私は洗面所え行きました。そして歯お磨き顔お洗いました。それから朝御飯お食べました。貴方わ今朝何時に起きましたか。7時半に起きました。顔お洗ってから新聞お読みました。

### 1943年3月3日

「放送日語講座」(15)18. なさい／お父さんが子供に言いました。もお、遅いから早く起きなさい。急いで顔お洗いなさい。御飯お食べて直ぐ学校え行きなさい。気おつけて行きなさい。授業が済んだら直ぐ帰つて来なさい。もつとよく勉強しなさい。もう一度読みなさい。もう一度書きなさい。皆

仲好く御飯お食べなさい。曾さんにお茶おついで上げなさい。墨と筆お  
持つて来なさい。そこえ座りなさい。遅いからもう寝なさい。それでわ  
おやすみなさいませ。

### 1943年3月3日

新聞記事：早稲田大学校友会のお知らせ。会場東亜大酒店、会費3円50銭、連絡先は港  
九留日同学会内または香港日報社内

### 1943年3月4日

新聞記事：香港総督令第11号「官立香港東亜学院規定」(1)目的、東洋精神および日本  
道徳をもとに中国青年を教育する。(2)編成、普通科および高等科(高等科は  
第1部、第2部に分かれる)(3)修業科目の中には次のよなものも見える、高  
等科には中文日訳、日文中訳、「修身公民」は東洋精神、日本事情、日本道徳及  
び礼法に分かれている。

### 1943年3月5日

「放送日語講座」[16]19. ましょお/日語講座が始まりました。皆でラジオおききま  
しょお。貴方は鉛筆を持っていますか。いい持っていない。でわ私  
のお貸してあげましょお。皆さん一緒に日本語の勉強おしましょお。林さ  
ん、今度の日曜日に何処かえ散歩に行きましょお。ええ行きましょお。  
もお、お昼です。一緒に御飯お食べましょお。お茶お飲みましょお。此  
処で煙草お吸つてもいいでしょおか。

### 1943年3月6日

新聞記事：東亜学院の課程及び授業時間の発表

### 1943年3月8日

「放送日語講座」(17)20. 下さい/本お読んで下さい。ちょっと新聞おとって下さい。  
すみませんが、ペンお貸して下さい。これお洗濯屋さんに出して下さい。  
給仕さんこの手紙お書留で出して下さい。(食堂で)何お召し上がります  
か。パンとおおひいお下さい。パンわ焼きましょおか。ええ、少し焼い  
て下さい。パンにわばたあお御付けになりますか。ええ、少し付けて下  
さい。こおひいにわ牛乳と砂糖お少し入れて下さい。

### 1943年3月9日

新聞記事：第3国人の教育に関しては英語を使うことも許可する。

### 1943年3月12日

「放送日語講座」(19)22. 買い物／御免下さい。いらっしやいませ。鉛筆お一本下さい。はいこれわいかがでしょおか。やすくてよく書けます。いくらですか。10銭です。それから雑記帳お1冊下さい。これわいかがでしょおか。これで結構です。いくらですか。50銭でございます。全部でいくらになりますか。60銭になります。毎度ありがとうございます。

新聞記事：国民学校〔日本人学校：筆者注〕卒業式、24名。

現在華人を教育する私立中小学校は35校

### 1943年3月15日

「放送日語講座」〔20〕23. 1週間／一週間わ7日です。月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日、日曜日。今日わ何曜日ですか。月曜日です。日曜日わ何日ですか。21日です。日曜日わお休みですか。ええ、お休みです。私わこの前の金曜日に広東え行きました。今週の土曜日に又広東え行きます。そして来週の水曜日に帰つて来ます。

### 1943年3月16日

新聞記事：海員養成所昨日開講、60名、訓練期間3ヵ月国民学校〔日本人学校〕昨日卒業式、24名、日本人子弟は増加、3月15日現在198名（昨年9月の開校時には113名）

### 1943年3月17日

「放送日語講座」(21)24. 一箇月／一箇月わ何日ありますか。30日あります 31日の月もあります。今日わ何日ですか。今日わ3月17日です。昨日わ16日でした。明日は18日です。国民政府の参戦記念日わ何日ですか。毎月9日です。今月の9日は第2回参戦記念日でした。来月の10日は私の誕生日です。1月～12月

### 1943年3月18日

新聞記事：新たに華人学校2校が開校

「放送日語講座」(21)24. 一箇月／一箇月わ何日ありますか。30日あります 3

### 1943年3月19日

「放送日語講座」(22)25 授業／私が日本語の本お読みます。皆さん本お閉ぢて聞いて下さい。本お見てわいけません。聞いて意味がわかりますか。陳さんわ

かりましたか。少しわかりました。それでわ本お開けなさい。林さん読んで御覧なさい。私は読めません。張さんわ読めますか。はい読めます。でわ張さん読んで御覧なさい。皆さん静かに聞きなさい。騒いでわいけません。

### 1943年3月20日

新聞記事: [広告] 香港占領地総督部華民代表会と香港華民各界協議会の連名で本日は日本の「春分」の日にあたるのでそれぞれの家の門に日本国旗を掲揚すべき旨の連絡・「特別増刊」東亜学院学生募集要領

### 1943年3月23日

新聞記事: 千早塾日語講習所(九龍金巴倫道7号)開講1ヵ月にして大変好い形跡を修めている。同校の高谷基氏によれば科目は5つに分かれている。(1)日本歴史を以て敬神崇祖、中君愛国及び孝行の道を教え、以て日本精神の貫徹を期す。(2)音楽を以て東京精神を高める。そのため教材に軍歌を使い歌うことにより東洋精神を発揚。(3)図画を使い東洋の美的観念を認識せしめる。(4)勤労の精神を養う。(5)日本の礼儀を教える。

### 1943年3月24日

「放送日語講座」(24)27. できる できない/貴方は[ママ]日本語ができますか。はい 少しできます。あなたは日本語を[ママ]話すことも書くこともできますか。話すことはできますが、書くことはできません。私は書けますが話せません。私は酒も煙草も飲めません。(飲むことができません)この服は何日頃できますか。25日頃できるでせう。もつと早くできませんか。

新聞記事: 香港からの留学生(5名)、日本に無事到着。広東省からの留学生(6名)、日本に無事到着。

### 1943年3月26日

「放送日語講座」[25]28. 市場/市場で買い物をしました。肉や野菜を買いました。蜜柑やバナナも買いました。全部で7元53銭になりました。10円札で払いました。おつりはいくらですか。29. 時計屋で/時計が壊れましたから直して下さい。何日[いつ]頃できますか。2 3日かかります。それではお願い致します。はいよろしうございます。

新聞記事: 日本人幼稚園が開園か。

### 1943年3月27日

新聞記事：(文教当局者記者に語る。)日本語は香港において普及しつつある。

現在講習所41校、修了者9千余名。(1)香港日語専修学校、学生数500余名、中国人も第3国人もいる。一日4、5時間の授業。修業年限1年。この学校を卒業すると国民学校3年次位の会話及び読解力を有する。(2)日語講習所。41校。この種の学校は日語専修学校とは異なる。会話を中心に仕事の余暇の時間を使い、一日2、3時間程度学んでいる。学習期間も3ヵ月から6ヵ月程度である。現在学生の中には中国人も第3国人もいる。4千2百人程度が学んでいる。調査によれば40を過ぎた男女も多く学んでいる。既に9千百余名の終了者がいる。学費は毎月約1円50銭から2、3円程度である。(3)小学校の日本語課程。華人の作った小学校は現在36校。学生数1万2千余名。当局は新学期を以て新しい日本語のカリキュラムを実施。それによれば第1年から第6年まで毎週4時何の日本語の授業を課す。そうすれば6年終了時には日本国民学校の3年生程度の日本語の力を有することになる。教科書に関しては現在総督部で編纂中。4月下旬以前に「日本語教科書巻4之課本」の編纂完了が待ち望まれる。

### 1943年3月29日

「放送日語講座」30. 家を尋ねる／ちょっとお尋ねします。陳さんのお宅は何処ですか。

この道を真直ぐにお [い] 出なさい。向かうの角を右に曲がると、左側に雑貨屋があります。その隣です。どうも有難うございました。貴方は何処にお住まいですか。香港中区結志街165号に住んでを [ママ] ります。おひまな時にお遊びに来て下さい。

### 1943年3月31日

「放送日語講座」31. 雑貨屋／私の家の隣は雑貨屋です。店に色々な物がならべてあります。お菓子もあります。マツチもあります。煙草もあります。学用品もあります。主人は親切な人で毎朝早くから店に出てゐます。私は今朝封筒と便箋を買ひに行きました。店には別のお客さんが来てゐました。その人達は煙草を貰つてゐきました。

### 1943年4月1日

新聞記事：文教課の最近の調査によれば日語講習所数約50校、日語講師100余名、受講生4千4百余名、修了者1万余名。文教課では日本語普及のため日語指導法視察会、日語講習生演習会を予定。

### 1943年4月2日

「放送日語講座」32. 家族／うちの家族は皆で9人です。父と母 兄が二人 弟と妹が一人づつ 兄と嫂 [あによめ] とそのこどもが一人。それに私 全部で9人家族です。父は今年56歳です。母は51歳です。嫂は23歳です。子供は2歳です。去年の8月に生まれました。貴方はいくつですか。私は丁度20歳です。

新聞記事：日本国民学校の学生今日から授業開始。

### 1943年4月6日

新聞記事：東亜学院への申込者4百余名。今月内に正式開講

### 1943年4月7日

「放送日語講座」33. から～まで／譚さんは何処へ御出掛けですか。これから総督部へ出掛けます。御宅から総督部までどのくらいありますか。家から総督部まで二十町くらいあります。毎日のお仕事は何時から何時までですか。午前の9時から午後の5時までです。4月3日は何故行きませんでしたか。4月3日は神武天皇祭といふ日本の祭日でしたから総督部はお休みでした。

新聞記事：「土居日語学校」広東語クラスを創設。日本人が広東語を習うことも盛んになって来ている。現在日本人学生40名。尚、日語クラスは昨年2月に開講、第1期の終了生を送り出し現在は第2期、学生数120名

### 1943年4月11日

新聞記事：日語指導法視察会開催、中区荷里活道日語専修学校にて、参加者は日本語学校及び日語講習所の日語教員200余名。

### 1943年4月12日

「放送日語講座」35. 天気／今日は好い天気です。空がよく晴れてゐます。雲が少しもありません。風は少し吹いてゐます。午後天気が悪くなるかも知れません。空が曇ってきました。風がひどく吹いてゐます。雨が降りそうです。もうすぐ降りだすでせう。雨が降りだしました。今ひどく降つてゐます。すぐには止まないでせう。この空模様では明日も雨かも知れません。

新聞記事：香港島警備隊主催日語学校昨11日創立1周年記念大会を開催。同時に第1期、第2期の学生に証書及び賞品を授与。参加者、警備隊中川副官、校務主任揚泰山先生、前校務主任陳進達先生、華民代表陳廉伯氏、新旧学生百余名。式次第(1) 全員日本国旗に最敬礼(3回)(2) 忠霊に黙禱(一分間)(3) 全員大

日本国歌斉唱(2回)(4) 全員中華民国国歌斉唱(2回)(5) 修了証書授与  
(6) 賞品の授与(7) 部隊長(=校長)訓話(8) 華人代表祝詞(9) 来賓  
祝詞(10) 学生代表答辞(11) 蛍の光合唱(12) 礼(13) 娯楽の部開  
始・香港の各地区から選ばれた人たちによる「日本語大会」開催。各地区2名  
船員で24名が参加。

#### 1943年4月14日

「放送日語講座」36. 来客/よびりんが鳴ってゐます。誰かよびりんを鳴らしてゐます。  
そこにゐるのは誰方[どなた]ですか。青木さんがお見えになりました。  
只今鈴木さんがいらしつしやいました。お通し申ませうか。どうぞ通  
して下さい。お早うございます御邪魔致して済みません。いいえどうい  
たしまして さあどうぞお入り下さい。

#### 1943年4月16日

「放送日語講座」37. 来客/良くいらつしやいました。どうぞお掛け下さい。有難うご  
ざいます。すっかり御無沙汰致しました。全くお久しぶりですね。お変  
わりありませんか。ええ、御蔭様で。今日は、少しお願いがあつて参り  
ました。明日の会のこととちよとお訪ね致しました。では、これで失礼  
致します、どうも御邪魔致しました。いいえ、どういたしまして、お構  
ひ申しませんでかえつて失礼致しました、又おいで下さい。

#### 1943年4月19日

「放送日語講座」38. どちらも/貴方はコーヒーと紅茶とどちらを召し上がり。[ママ]  
どちらでも結構です。どちらでも戴きます。お菓子は如何ですか。お菓  
子も頂戴致します。料理は日本料理と中華料理とどちらがお好きですか。  
両方とも好きです。西洋料理は嫌いです。コーヒー。サイダー。アイス  
クリーム

#### 1943年4月19日

「放送日語講座」39. 碼頭で/李さん、行きませう。もう用意はできましたか。はい、  
今すぐ行きます。ちょっとまってください。急がないと、おくれるかも  
知れません。それでは、急いで行きませう。ごらんなさい。碼頭の待合  
所は大変な人です。フェリーが出るまで、時間はまだどのくらゐありま  
すか。5分ほどあります。すぐ切符を買ひませう。一等を2枚下さい。

#### 1943年4月23日

「放送日語講座」40. もし/今度の日曜日には何処へ行きますか。お天気が好ければ、新界の方へ遠足に行くつもりです。もし雨が降ったら、何処へも行きません。もし貴方が来なければ独りで行くつもりです。もし都合が悪ければ、明日又参りませう。もし、値段が安かつたら、買って来て下さい。もし陳さんに会ったら「よろしく」言つて下さい。

#### 1943年4月24日

新聞記事: 先年4月に総督部は私立日語学校規程を定めたがこの1年間に以下のように大変な増加を見た。日語講習所52校(香港サイド39校、九龍サイド13校) 日語講師112名、修了者数9,296名(男性6,326名、女性2,970名)、現在の学習者数6920名(男性4614名、女性2306名)。当局はこの1年間の日本語普及を記念し今月27日第1回日語講演会を開催予定。(会場は東亜学院講堂、以前の聖士提反女子書院の地点)

#### 1943年4月26日

「放送日語講座」41. 筈・さう・らしい/昨日私の父から電報が来ました。今日の午後、香港に着いたと言って来ましたから、もう来る筈です。貴方のお父さんは今年おいくつですか。丁度70歳になります。此処へ何の御用でいらしゃるのですか。香港の街を見物するのだと思います。今度は母も一緒に来るそうです。お父さんもお母さんもお元気ですか。ええ、父も母も元気らしいです。

#### 1943年4月28日

「放送日語講座」42. 電話を掛ける/もしもし、70845番ですか。さうです。堀内書店でございます。すみませんが会計係の山田さんをお願い致します。はい、貴方は誰方ですか。私は佐々木と言ふものです。すこしお待ち下さい。お待たせ致しました。只今山田さんはお留守でございます。さうですか。誰方かほかに日本人の方はおいでですか。丁度お昼休みで皆さんお留守でございます。恐れ入りますが、2時頃にもう一度お電話をお願い致します。

新聞記事: 第1回日語演習会盛大に開催。会場は東亜学院、参加者29名、聴衆500名。学習歴半年、1年まで、1年以上の3部。新聞記事から当時次のような学校のあったことを知ることができる。建立・速成・同文・時代・月峯・南洋・半島・嶺川・知行・山王区・春日区・千早塾・土居・益羣・東京・香港日語・堀廣・興亜

(以上)